

アジア大会銅メダル海老原有希さんが報告

「上三川町体育協会」より初表彰

12月カタールのドーハで開催されたアジア大会陸上競技女子やり投げに日本代表として海老原有希さん（上三川中学校－真岡女子高校－国士舘大学3年生）が出演し、見事銅メダルを獲得しました。

1月24日（水）、国際大会で活躍した海老原さんは町体育協会より表彰されました。

同表彰は、昭和36年から昭和47年まで上三川町教育長を勤め、その後町体育協会（専門は相撲）の振興に尽力された遠井浅次氏（故人）の遺族から、町のスポーツ界の向上・発展等に特に貢献された個人やチームを表彰する目的で、約10年前に設立されました。

海老原さんは、受賞の喜びを「上三川町・栃木県・日本を背負って、今後とも頑張っていきます。あと60cmでB標準記録に届きますので、60mを突破できるよう頑張りたいです。」と力強く語ってくれました。

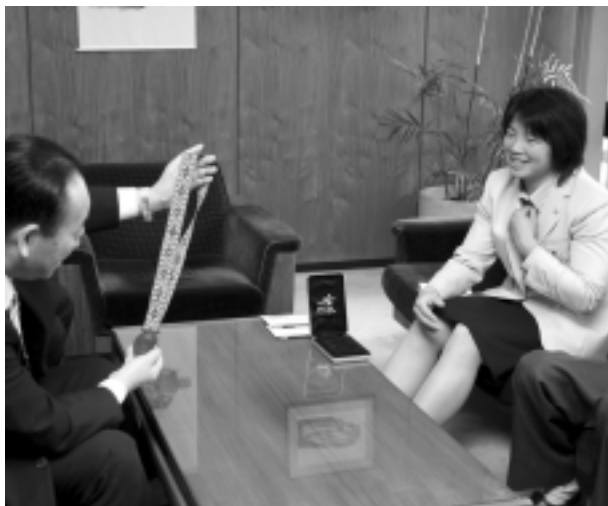
アジア大会では、57.47mで自己記録を更新。今後は、2008年の北京オリンピック出場が目標で、オリンピック出場へのB標準記録の58mまであと60cm。

自己記録の更新とB標準記録突破でオリンピック出場への道が開かれます。



アジア大会での見事3位に入賞した海老原有希さん

“町民皆さんで
応援しましょう！”



やり投げで獲得した銅メダルを披露



平成18年度国民体育大会での投てき(写真提供:下野新聞社)